



# 梅花霜雪 Vol.5

近畿大学九州工学部同窓会ニュース

2002年5月1日

近畿大学九州工学部同窓会発行

〒820-8555 飯塚市柏の森11-6 近畿大学九州工学部内  
TEL 0948-22-5655 FAX 0948-23-0536  
<http://www.fuk.kindai.ac.jp>  
Mail: dousou@fuk.kindai.ac.jp

## 平成13年度近畿大学九州工学部・九州短期大学合同同窓会報告

一昨年の世紀末から新世紀へとバトンされた同窓会総会 懇親会。当番制に変わり私共4回生が実行主体となり、皆々様の御尽力、御協力により、親しく賑やかに熱気の中に開催されましたことをまずもってお礼申し上げます。同窓会の本旨である「懇親の喜び」と「互助」を具現し、もって「母校の発展」へとつなぎ紡いでゆく、その活動の一端に少しでも力を添えられた事をとても嬉しく思っております。

今回のアトラクションは、熱氣の地沖縄のたぎる情熱に刺激を求める「沖縄エイサー」の踊り&太鼓のグループを招きました。会場内を縦横に舞踊る演出のクライマックスでは、同窓会員皆で踊りの輪に加わりとても賑やかで壮快なアトラクションとなりました。

世情はまさに混迷の只中にあるのは否めませんが、この様な時にこそ近畿大学の名の下にある同窓の皆様が、そのもてる力をもって、より一層連帯と絆を深め、苦難に立ち向かう一助と成す事が必要なだと感ぜずにはおられません。

今後の同窓会活動に関して、メインの事業である総会 懇親会を成功裏に終わらせる事は一つの大きな目標ではあります、その礎となるのはやはりそこに至る日常的同窓会活動



の充実であると思います。工学部の卒業生が既に一万人を超え、短大においても6千名を超えており、又、母校の環境も附属高校の同敷地内への移設など、発展的に変革を遂げつつ

ありますが、これに呼応し、母校と同窓会が相乗的に互いを支えあい、成熟、成長する健全な関係を続けてゆくことが、私共の最大の願いであると思います。

14年度の同窓会は、強力充実の5回生が主体となっていただきますが、より多くの参加をもって成功的うちに終わることを念じております。

平成13年度同窓会実行委員会

委員長 樋口秀隆(S48年建築卒)



## 会長挨拶及び関東支部設立にむけて

会長 坂口 高昭(S48年建築卒)

昨年は長引く経済不況や米国の同時多発テロなどの暗いニュースの多い中、12月に皇太子さま御夫妻に愛子さまが誕生され、閉塞感が漂う世相に明るい光を投げかけました。

さて、母校九州工学部同窓も、1万人を超えて、その多くの同窓が今や各界各層の中核で重責を担い活躍され、社会の発展に貢献されておられることは、大変嬉しく誇りに思っております。

同窓会事業に「在校生への就職情報提供」を行うことをあげております。そこで同窓会主催による就職セミナーでは、社会で活躍されておられる卒業生の方に講演を依頼し、「現在の企業のあり方」「今、求められている人材とは」「今、現在いかに生きるか」等、現場での生の声で、熱氣あふれる講演をしていただいております。昨年の総会の時にはリファイン建築で「2001年度建築学会賞」を受賞された、青木茂さん（建築学科S46年卒）に講演をお願いし、当時の学生時代の思い出から今日のリファイン建築の動向など、楽しく、厳しく、熱く語っていただき、先輩からの直接のアドバイスとして、在学生には叱咤激励、良い刺激を与えていただいたと思っております。

総会において承認された、九州工学部関東支部設立に向けて関東在住の安藤さん（電気工学科S51年卒）と当事務局と打ち合わせを重ねながら準備を進めてきました。そこでいよいよ今年5月中旬頃に設立総会を開く準備が整ってまいりました。ここに至るまでには、安藤さんをはじめ、10数名の関東地区在住の方々の情熱、努力ご苦労があつたことだと思います。よく頑張ってくれました。関東地区には400名近くの同窓が活躍されて居

られます。積極的に交流を重ねられ、友愛と互助の精神で、お互いに協力し、支部を守り立てて、活発な活動を展開してほしいと思います。東京には近畿大学校友会東京支部がありますので情報を交換し円滑に交流を進めてほしいと希望致します。また支部設立については、会則にありますが、細則についてはありません。同窓会にとっても初めての事ですので慎重に事を進めております。同窓の皆さんのご意見、ご指導を是非よろしくお願いします。

最後に同窓の皆さんのご健勝と、母校のますますの発展を祈念すると同時に、関東支部のご活躍を心からご期待致します。



左より、S46建築卒 平田誠二さん、事務局 高島美穂さん  
親子、坂口会長

## 同窓会によせて

三寒四温の候、皆様いかがお過ごしですか。私、同窓会創立以来、一代に渡り副会長を拝命、不本意ながら皆様のあたたかいご支援のもと、なんとか続けさせて頂いております。

同窓会も創立から13年を経過し、その間、歴代会長の努力のもと、それなりの価値が蓄積され、力強く前進しています。皆様、「同窓会とは何か」ということについて、お考えになった事がありますでしょうか。私事ではありますですが、顧みますと昭和48年当時、初めて社会に出て以来、十年位は他のことは眼中になく、職場という狭い世界にのみ過ごしておりました。「今の環境の中で事がうまく動いていれば、それで良いのだ」と、『井の中の蛙』になっていた様な気がします。企業の中の一員である事だけが、最良の道であるかの様な錯覚に囚われていました。社宅住まいの一時期は、地域の活動や催し事には一切かかわることなく、自分はまわりの社会とは関係ないと割り切っていた面がありました。当然、選挙にも関心がなく、どこ吹く風といった心境でした。その後、自営するに至って、自分がそれまでいた環境の空虚さに気がついたのです。より広く社会と関わりを持たなくてはいけないと思いました。現在は企業の再編によるリストラなど、社会の激変に先の見えない大変な時期を迎えています。その中で我々はどう生きていくのか、これから世の中はどうなるのかといった危機感があります。その様な中にあって、同窓会の構成員の年齢層も拡大し、会員数も増加して賑わ

副会長 大島 敏秋(S48年建築卒)

しくなって来たことに、役員一同、非常に心強いものを感じているところです。今日の社会で、数少ない喜ばしい事だと思います。

同窓会活動を盛んにすることによって、同窓会と母校が共に発展していく事が重要だと考えています。しかし、活動の原動力が高齢化に向かっていることも否めません。年間の活動も多岐に渡っています。関東支部も近く立ち上がる予定で準備を進めています。その為、皆様のより一層の御協力、御支援、御参加を是非お願いし、力強く前進させなければなりません。

皆様の益々の御発展、御健康を願いまして私の御挨拶と致します。



大島さんご夫妻

# 平成13年度九州工学部同窓会総会報告

副会長 藤本 繁喜(S59年建築2部卒)

開催日 平成13年6月23日

この度の同窓会総会では、1つの記念すべき議題が承認されました。それは、近畿大学九州工学部同窓会の支部設置です。この件について、東京在住の安藤秀徳氏（S51年電気卒）を代表とする、東京都内、埼玉県、千葉県内より同士を募った東京支部設置に向けての活動の報告がなされました。そこで、本席上において同窓会会則17条により東京支部設置は満場一致で承認されました。併せて、東京支部の名称を「関東支部」に変更する予定です。

また、会計決算報告において桑野勝義氏（S59年建築二部卒）より、「総会資料が掲示のみのため検討しづらい」とのご意見を

いたしましたので、坂口会長より「今回は資源節約のため掲示のみとしました。総会の報告になりますが、前年に承認い



ただいた内容は同窓会誌に掲載しております。今後は配布資料を準備します」との回答をいただきました。

## ファミリーレクレーション・玄海原発見学＆活イカ

富来 公生(S59年建築卒)

### ファミリーレクレーションに参加して

公生（パパ・S59建築卒）

・ファミリーレクレーションに何年かぶりで参加できました。家族で参加して本当に楽しい企画です。今回は、玄海原子力発電所と波戸岬・呼子に行きました。何よりも良かったのは、何年かぶりで先生や先輩同級生に会えたことです。以前は、同窓会のお手伝いも少しは参加していましたが、今は福岡で単身赴任をしているので、なかなか参加出来ません。それでも、同級生や先輩たちの、「元気やつたね。」の一聲が、本当に参加して良かったと思いました。みなさんも、機会があれば是非気軽に参加してみませんか。なつかしい先生・先輩・同級生が待っていますよ。



乾杯の音頭をとる坂口会長

まゆみ（ママ）

・私の職場の田川病院に、主人と同じ近大出身の奥さんがいます。私もそうですが、いつも二人で「近大のファミリーレクレーションは得だ。」と話しています。あまり費用がかからず、子供の遊べる企画・美味しい企画です。色々と大変でしょうが、来年も頑張って下さい。本当に世話をになりました。

公一（長男・小6）

・ほくは、玄海原子力発電所の見学は2回目でしたが、今回は専用バスで工場の敷地内を案内してもらつたのが、とても良かつたです。広い敷地内にたくさん的人が働いていることにびっくりしました。安全対策も十分取られているようで安心しました。

翔太（次男・小4）

・原子力発電所の見学に行って、電気は火力・水力・風力・原子力と色々な方法で作られていることを知りました。また、原子力発電所の中に、いろんな遊びどころがあってとても楽しかったです。また行ってみたいと思いました。

研三（三男・小1）

・ほくは、波戸岬の海中展望台に行って、海の中を見れたことがうれしかったです。いろんな種類のお魚がたくさんいました。あんなにたくさんのお魚を目の前で見たのは、初めてだったのでびっくりしました。そして、お母さんから、「ここは海の底なんだよ。」と教えてもらって、もう一度びっくりしました。それと、海岸の屋台で食べた「サザエとイカ」がとっても美味しかったです。また、食べたいです。



富来さんご一家

## 同窓会主催3年生就職ガイダンス開催

平成13年6月23日(土)に開催された就職ガイダンスに講師として 昭和46年卒の建築学科OBで、平成13年3月日本建築学会賞第10回BELCA(建築・設備維持保全推進協会=国土交通省の外郭団体)賞を受賞された、青木 茂氏を講師としてお迎えし「建築を通じて後輩に伝えたいこと」の演題で特別講演を開催いたしました。当日、会場の1151教室にはいっぱい学生がつめかけ、青木氏の学生時代と社会人になってからの話で盛り上がり、学生時代はクラブ活動が主で勉学は二の次で学生生活を大いにエンジョイされた姿が伝わって来ました。社会人になってからは建築設計事務所を設立し「人との出会い」で現在の自分があることを強く訴えられていました。

特にスライドを中心に戦後に建築された鉄筋コンクリート造りの建物の更新期に、躯体再利用と新旧併置のリファイン建築の実例を取り上げた話に、学生はユーモアを交えた青木先輩の話に熱心に聞き入っていた。

著書 平成6年4月 寺院空間の演出(双樹社)

平成7年10月 県都 大分市への提言(大分合同新聞)

平成11年7月 建物のリサイクル・躯体再利用・新旧併置のリファイン建築  
(学芸出版社)

## 企業家セミナー開催

平成13年9月20日(木)本学1151教室において、「ヤングアントレプレナーセミナー」～若者よチャレンジ精神を持て～で学生らに企業家精神を持つてもらうために、同窓会と飯塚市の共催で開いた結果、学生や一般市民などが約360名が参加した。

第一部では本学3年生でインターネット関連の事業を起こした国武裕仁(21歳)君のほかに企業家3人のパネルディスカッションで、国武裕仁君は「自分の立てた戦略が顧客に合った時が面白い」と仕事の魅力について話した。コーディネータは本学の経営情報学科 清山卓郎先生にお願いし、会場では学生らが、会社の概要や事業を起こした動機などについて3人の話に聞き入っていた。

## 九州工学部同窓会関東支部設立にあたり

関東支部長 安藤秀徳(S51年電気卒)

九州工学部同窓生の皆様、この度は皆様の御協力により「九州工学部同窓会関東支部」を設立する事ができました。そもそも設立のきっかけとなりましたのは、私が福岡勤務時代(H7~H10)に時折九州工学部に通う機会があり、久しぶりの母校の空気にふれたことです。その後、大阪転勤の後再び東京に戻りましたが、九州工学部同窓会との交流は無い状態でした。しかし、関東地区の同窓生名簿によって多数の同窓生が活躍している事を知りました。そこで、関東近郊の先輩 後輩諸氏と連絡をとり、十数名による「集まり会」を始めたところ、社会に貢献し活躍されておられる方が予想以上に集まられ、新しい刺激や知識の場となりましたので、これを機に中身の濃い活動が出来ればと考え、その後の関東支部設立に至った次第です。

これまで、関東支部における集まり会においても、様々な業種が集まった“異業種交流会”に近い雰囲気がありました。これからは、関東支部が、こうした同窓生同士の新しい知識、ビジネス、人脈交流、勉強の場になればと考えております。また、支部設立を機に、将来的には九州工学部学生の就職活動における関東地区での就職状況等の情報提供、また新卒者の関東での社会生活でのアドバイスの場になればとも考えております。



第二部では会場を移して第一学生食堂で「学生と産業界の交流会」を昼食をとりながら和やかなうちに閉会した。

## 3年生就職講演会開催

平成13年11月12日(月)本学1151教室において就職特別講演会を開催した。

大学本部の商経学部経済学科を昭和27年に卒業され、現在は伸和工業(株)の社長としてご活躍の澤田好章氏に「社会人になる前に知っておいた方が得な話」で参加学生285名に対して講演して頂きました。

講演の中で、気配りと人間性で織田信長の人選びを例にとられ、守(基本をマスターすること)破(自分ならではの境地を開く)離(無とか空とかといった自分に自然と身に付いた悟りのこと)から始まり、社会人としての基本マナーは人間関係を良くする秘訣や正しい立ち姿・お辞儀に続いて言葉は正しい発声から歴史上の人物や自分の人生経験談を交えて2時間の講演を終了した。

## 未内定者向け就職対策講座開催

平成14年1月10日(木)本学1151教室において、現4年生でなかなか内定がとれず、悩みそして焦っている学生を対象にして、その原因を究明と具体的な手立てを指導する内容で講座を開催した。参加学生数は50人で採用する側の気持ちや落ちるツボからの脱却プログラムでは「数受ければどこかに内定できるだろう」では、内定は程遠いもの今一度地に足を付けてこれまでしたことの就職活動を振り返り、どこに問題があったのかをワークロールプレイしながら実践的な指導を受けた。

模擬面接では受験する企業へ提出予定の履歴書を持参し本番と同じような模擬面接を、参加者全員が受けて悪かった点などをアドバイスされ、今度こそはと自信がついたと講座に参加した学生からは感謝の言葉も出た。

その一方、ふとしたきっかけで、昨年建築学会賞などを授賞されました青木茂先輩(S46建築卒・大分在住)とも、私の活動する学会活動を通して交流が始まりました。この様な活動を機会に、様々な輪が広がることも願っております。

今後の活動として、平成14年5月には第1回関東支部同窓会を開催致します。未だ組織的に具体的な活動は行っておりませ

んが、九州工学部同窓会本部との交流や、情報交換を進めていきたいと考えております。

これからは、あせらずに少しづつではありますが皆様のご指導ご支援の基に関東支部を盛り上げていきたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

※関東在住の九州工学部同窓生に関する情報等があれば、関東支部事務局までご連絡下さい。

関東支部事務局

埼玉県北足立郡吹上町富士見2-5-13

安藤 秀徳 (あそ ひでのり)

TEL・FAX 048-549-1653

メール fwns1121@mb.infoweb.ne.jp

## チャリティゴルフ

杉山 哲史(S48年建築卒)

同窓会主催の平成13年度チャリティゴルフコンペが9月19日（水）福岡レイクサイドカントリークラブにおいて催され、これに参加させて頂きました。

このチャリティーコンペへの参加は3回目で毎回楽しみにしておりましたが、今回同窓会事務局よりお世話役のお話があり、私はこの様な行事のお世話などしたことが無くどこまでやれるか不安でした。ゴルフ場の決定、賞品の決定、参加者人数の把握、

参加者の出欠など大変な思いで開催日を迎えました。当日は秋晴れのなか久しぶりにお会いする教職員の方々や諸先輩方々、懐かしい同級生、初めてお会いする後輩方など皆さん懐かしそうに楽しそうにプレーされている様子でした。表彰式においても、珍プレー・好プレーの話や学生時代の思い出話など、各テーブルも楽しいひと時を過ごされているのを感じホッとしました。無事終えることができましたのも皆さまのご協力と感謝しております。今後もこの様な同窓会活動に参加し、皆さまとの交流を深めたいと思っております。なお、チャリティ募金（平成12年度と平成13年度分合わせて48,500円）は平成14年4月23日九州工学部にて坂口会長より特定公益増進法人 財団法人 福岡盲導犬協会 常務理事 大山徳次郎氏へ手渡されました。

順位	氏名	TOTAL	HCP	NET
1	繩田 芳照	79	7.2	71.8
2	前川 尚之	85	12.0	73.0
3	杉山 哲史	94	20.4	73.6
4	荒川 剛	86	12.0	74.0
5	伊藤 緑朗	92	18.0	74.0
6	佐藤 信幸	83	8.4	74.6
7	山下 得雄	100	25.2	74.8
8	川村 正美	105	30.0	75.0
9	曾根 國幸	96	20.4	75.6
10	秋山直多勇	89	13.2	75.8

順位	氏名	TOTAL	HCP	NET
11	田代 勝	89	13.2	75.8
12	芳野 弘	105	27.6	77.4
13	青柳 秀喜	87	9.6	77.4
14	西山 丈夫	96	18.0	78.0
15	井上 修一	104	25.2	78.8
16	小宮 邦夫	88	8.4	79.6
17	安武 英典	100	20.4	79.6
18	林 順一	99	18.0	81.0
19	松瀬 英樹	104	28.8	81.2
20	浦川 保	105	19.2	85.8

## 九州工学部学科紹介

### ○生物環境化学科

衣食住など日常生活にも、あるいは社会の発展にも、さらには先端技術の開発にも重要な役割を果たしている“モノ”。化学とはこれらの“モノ”的性質を解き明かし、全く別の物へと変化させる学問です。そしてこの学問を応用し、新素材・新技術を生み出すのが生物環境化学科の役割。その挑戦が私たちの生活を変えていくのです。

### ○電気情報工学科

エレクトロニクス技術の進歩が私たちの生活に与えた影響は計り知れないものがあります。通信、計測、制御、医療、交通機関、そしてコンピュータ。それは電気工学から電気情報工学の時代への移行をもたらしました。新時代の技術を、ぜひここで身につけてください。

### ○建築学科

人間の生活に密接に関わる場であると同時に、その国の文化を象徴するものである建築。建築を志す者には、工芸や芸術、人文、社会など 幅広い知識とセンスが求められます。本学科ではこれらの要素について、設計、構造、環境、計画、生産など系統だったカリキュラムを通じて確実に学ぶことができます。

### ○産業デザイン学科

今日の産業デザインの世界には、ただ人間の便利さだけでなく、新しい科学の総合とやさしさにあふれたユニバーサルデザインの思想が求められます。地球上のあらゆる命あるものとの共存、自然環境の保全といった「人・もの・環境」のあり方を学ぶ、それがこの産業デザイン学科なのです。

### ○経営情報学科

産業活動が環境に及ぼす影響や、効率的に組織運営を可能にする経営情報処理システムの開発など、技術者に求められる見識が多様化する現代。技術者は技術のことだけを考えていればいいという時代は終わりました。経営情報学科では、このような時代に広い視野で物事を判断できる技術者を育成します。

九州工学部				
学科	志願者数	合格者数	入学者数	競争率
生物環境化学科	470	295	132	1.6
電気情報工学科	356	267	133	1.3
建築学科	302	187	131	1.6
産業デザイン学科	178	138	72	1.3
経営情報学科(経営)	112	92	41	1.2
(情報)	139	125	61	1.1
合計	1,557	1,104	570	1.4

産業技術研究科(前期課程)				
学科	志願者数	合格者数	入学者数	競争率
物質工学専攻	18	17	16	1.1
電子情報工学専攻	7	7	7	1.0
造形学専攻	13	10	10	1.3
経営工学専攻	10	8	6	1.3
合計	48	42	39	1.1

産業技術研究科(後期課程)				
学科	志願者数	合格者数	入学者数	競争率
物質工学専攻	1	1	1	1.0
電子情報工学専攻	0	0	0	1.3
造形学専攻	1	1	1	1.0
経営工学専攻	1	1	1	1.0
合計	3	3	3	1.0

## 平成13年度卒業式

(第33回3月14日)

### 九州工学部卒業者

学科	卒業生数
生物環境化学科	87
電気工学科	96
建築学科	120
産業デザイン学科	60
経営情報学科	93
合計	456

### 大学院産業技術研究科修了者

専攻	博士前期課程	博士後期課程
物質工学専攻	12	0
電子情報工学専攻	7	0
造形学専攻	8	0
経営工学専攻	8	0
合計	35	0

## 退職者

袖崎 栄一先生	(基礎科学センター)
西 繁美さん	(事務部)
永露 栄さん	(経理課)
白井 幸蓉さん	(庶務課)

平成14年度入試を終えて

近年の大学入試では、18歳人口の減少と長引く不況で国公立大学への志望が高まり、多くの私立大学が学生募集に苦戦しています。その中で本学部は今年も570名の新入生を迎えることができましたことを喜んでいます。

本学部の平成14年度入試の志願者状況を振り返ると、推薦入試での志願者が減少し、一般入試・C方式入試での志願が増加しました。これは入試の易化に伴い元来推薦入試で受験していた受験層が一般入試での受験にシフトしてきたものと考えられます。これには多くの高等学校進路指導部の受験指導が1月の大学入試センター試験まで受験勉強をさせるために早めに進路が決まる推薦入試を敬遠する方向に向いていると考えられます。また、建築業界の不況の関係か昨年と比較すると志願者が減少した。今後は入学した学生の能力をいかに伸ばせるかが大学の学生募集の重要なポイントになってきます。

## 平成12年度近畿大学九州工学部同窓会収支報告

(期間 平成12年4月1日～平成13年3月31日)

単位：円

支出の部			収入の部		
摘要	12年度予算	12年度決算	摘要	12年度予算	12年度決算
会議費	250,000	150,710	会費収入(当年度分468名の54%)	3,080,000	2,550,000
交通費	300,000	172,720	準会員会費(1 2 3 4年生)	1,950,000	1,948,000
通信費	200,000	186,000	利息収入	8,000	4,909
印刷費	600,000	494,550	同窓会会誌売上	5,000	4,000
慶弔費	150,000	75,000	スポーツ大会会費	150,000	69,000
スポーツ大会費用	150,000	74,485	チャリティー募金	50,000	19,500
チャリティー募金	50,000	0	ファミリーレクリエーション参加費	150,000	123,000
ファミリーレクリエーション参加費	350,000	356,024	合同同窓会短期大学負担金	800,000	800,000
大学祭 サークル表彰	65,000	31,176	合同同窓会懇親会会費収入	1,500,000	1,420,000
大相撲若松部屋後援会会費	100,000	0	合同同窓会懇親祝儀	500,000	550,000
同窓会員名簿印刷	1,000,000	720,300	販売品	100,000	132,000
事務用消耗品 手数料等	80,000	31,095	近畿大学補助金	0	50,000
卒業生表彰記念品	95,000	87,191	基金(同窓会館建設)	0	500,000
合同同窓会懇親会費用負担金	1,437,000	1,334,497	基金(記念事業)	0	500,000
合同同窓会懇親会費用	2,900,000	2,952,000			
同窓会就職ガイダンス	200,000	30,000			
基金(同窓会館建設)	0	500,000			
基金(記念行事)	0	500,000			
支出合計	7,927,000	7,695,748	収入合計	8,293,000	8,670,409
翌年度への繰越金	18,683,133	19,291,794	前年度からの繰越金	18,317,133	18,317,133
合計	26,610,133	26,987,542	合計	26,610,133	26,987,542

## 平成13年度近畿大学九州工学部同窓会予算書

(期間 平成12年4月1日～平成13年3月31日)

単位：円

支出の部		収入の部	
摘要	13年度予算	摘要	13年度予算
会議費	200,000	会費収入(当年度)	2,850,000
交通費	250,000	準会員会費(1 2 3 4年生)	1,904,000
通信費	200,000	利息収入(定額貯金利含む)	3,810,000
印刷費	600,000	同窓会名簿売上	5,000
慶弔費	150,000	スポーツ大会会費	100,000
スポーツ大会費用	100,000	チャリティー募金	30,000
チャリティー募金	49,500	ファミリーレクリエーション参加費	140,000
ファミリーレクリエーション参加費	300,000	合同同窓会短期大学負担金	800,000
大学祭 サークル表彰	65,000	合同同窓会懇親会会費収入	1,700,000
同窓会員名簿印刷	800,000	合同同窓会懇親会祝儀	500,000
事務用消耗品 手数料等	80,000	販売品	30,000
卒業生表彰記念品	95,000	基金(同窓会館建設)	500,000
合同同窓会懇親会費用負担金	1,540,000	基金(40周年記念事業)	500,000
合同同窓会懇親会費用	3,030,000		
同窓会就職ガイダンス	150,000		
予備費	100,000		
基金(同窓会館建設)	500,000		
基金(40周年記念事業)	500,000		
支出合計	8,709,500	収入合計	12,869,000
翌年度への繰越金	23,451,294	前年度からの繰越金	19,291,794
合計	32,160,794	合計	32,160,794

## 平成14年度 九州工学部同窓会のご案内

今年は九州工学部単独の同窓会を行います。今回の当番回期5回生(S49年卒)実行委員一同工夫を凝らしておりますので、ご多忙中の事とは存じますが皆様お説明合わせの上同窓会に参加頂きますようご案内申し上げます。

平成14年度5回生実行委員会委員長 井手克行

開催日 6月22日(土)

時間 17時～18時 総会

18時～ 懇親会

場所 九州寿会館

飯塚市片島1-7-62 (勝盛公園横)

TEL 0948 22 5138

問合先 近畿大学九州工学部同窓会実行委員会

TEL 0948 22 5655 (川村)

## 平成12年度 同窓会経過報告

- H12. 4. 1 同窓会誌の発行
- 4. 4 合同同窓会実行委員会
- 4. 5 平成11年度入学式出席
- 4.18 合同同窓会実行委員会
- 5. 1 当番回期生準備打合せ会
- 5. 8～9 同窓会案内状発送準備
- 5.13 合同同窓会実行委員会
- 5.25 同窓会会場にて打合せ
- 5.26 合同同窓会実行委員会
- 6. 9 合同同窓会実行委員会
- 6.16 合同同窓会実行委員会・幹事会
- 6.20 合同同窓会会場にて打合せ
- 6.23 合同同窓会準備
- 6.24 合同同窓会総会・懇親会
- 7. 5 合同同窓会実行委員会
- 7.10 合同同窓会のお礼状発送
- 7.21 合同同窓会の反省会
- 8. 2 同窓会マニュアル原稿作成
- 8.10 同窓会マニュアル作成
- 8.23 同窓会親睦ゴルフコンペ案内状発送
- 9.11 幹事会
- 9.13 同窓会親睦ゴルフコンペ準備
- 9.14 同窓会親睦ゴルフコンペ
- 10. 2 同窓会入会案内発送
- 10. 4 幹事会
- 10.14 広島工学部 校友会総会へ出席
- 10.17 幹事会
- 10.23 講演会・在校生(3年生対象)へ就職ガイダンス
- 10.27～29 大学祭参加
- 10.28 学生サークル表彰(空手道部)
- 10.28 校友会総会出席
- 11. 7 同窓会ファミリーレクリエーション案内状発送
- 11.21 幹事会
- 12. 3 同窓会ファミリーレクリエーション
- 12.13 幹事会
- H13. 1 12 幹事会
- 1. 16 同窓会新年会
- 2.23 合同同窓会実行委員会
- 3. 8 合同同窓会実行委員会
- 3.14 同窓会名簿発行
- 3.14 平成12年度卒業式出席  
(成績優秀者表彰)
- 3.17 曽根前学部長さようなら講演へ参加
- 3.22 合同同窓会実行委員会

## 平成13年度 同窓会事業計画

- H13. 4. 2 同窓会実行委員会(広報委員会)
- 4. 5 平成13年度入学式出席
- 4. 9 合同同窓会実行委員会
- 4.25 合同同窓会実行委員会
- 5. 1 同窓会会報の発行
- 5.14～15 合同同窓会案内状準備発送
- 5.15 合同同窓会実行委員会
- 6. 2 当番回期生準備打合せ会
- 6. 6 合同同窓会実行委員会
- 6.12 同窓会会場にて打ち合わせ
- 6.14 合同同窓会実行委員会
- 6.23 就職ガイダンス講演会
- 合同同窓会総会・懇親会
- 6.24 北九州地区校友会総会へ出席
- 7 合同同窓会実行委員会
- 7 合同同窓会の反省会
- 8. 幹事会
- 8. 在学生保護者へ同窓会報発送
- 9. 幹事会
- 9. 同窓会親睦ゴルフコンペ
- 9. 校友会全国支部長・同窓会長会
- 10. 同窓会入会案内発送
- 10. 幹事会
- 10. 講演会・在校生(3年生対象)へ就職ガイダンス
- 10. 校友会総会へ出席
- 10. 大学祭参加
- 10. 学生サークル表彰
- 11. 幹事会
- 11. 同窓会ファミリーレクリエーション
- 12. 幹事会
- H14. 1 幹事会・新年会・平成14年度合同同窓会実行委員会発足
- 2. 幹事会
- 3. 平成13年度卒業式出席・同窓会名簿発行
- 3. 幹事会

## 編集後記

編集委員になりはや五年になりました。そろそろ新しいメンバーが欲しい頃です。同窓会の当番制を同窓会誌委員にも導入しますので、一回生の方はよろしくお願ひいたします。原稿が毎回ぎりぎりになり誠に申し訳ありません。責任を取り編集委員一同辞表を提出しますので、次回は新メンバーでよろしくお願ひいたします。(たてまえ)  
わからんかね。は○出○ち○よ○う○。(ほんね)

編集委員長 YH